

薬のちょっと困った作用（副作用）に関する情報をこのコーナーで紹介します。

# クスリスク

k u s u r i s k ⑤



寒さもやっと少しはゆるんできたようで、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

過ごしやすい季節ではありますが、この季節になると決まって、鼻水のズルズル・目の充血のような症状に悩まされる人が多いかと思います。その時、皆さんはどうするでしょうか？病院・又は薬局に花粉症の薬を求め来院・来局されることでしょう。

そこで今回は花粉症にも使われる薬「抗アレルギー薬」についての話をしたいと思います。

抗アレルギー薬というと現在は古いタイプと新しいタイプの薬に分割されます。古いタイプの薬でよくみられる副作用としては、眠気や口の渇き・便秘があります。それに比べると、新しいタイプの薬では、眠気や口の渇き・便秘等は少しずつではありますが改善されていきました。ただし、副作用には個人差があります。

また効能としては、新しいタイプの薬は即効性があり、飲んだ後まもなく効果が出現します。ただし、十分な効果が得られるまでは数日かかる場合もあります。予防的に花粉の飛散する前より飲むケースもあ

るので、決められた期間を守ることが重要です。

最近では、お医者さんの処方でももらえなかった新しいタイプの薬の一部が、近くの薬局に市販薬として並んでいます。以前までの市販薬は古いタイプのものが多く、それにより眠気等の副作用が多く表れていました。また、気付かぬうちに集中力や判断力の低下をまねき、仕事や勉強に影響することもありました。それに比べると、新しいタイプの市販薬では眠気等の副作用は少なくなっています。ただし、ゼロではないので注意が必要です。

抗アレルギー薬の中には、まれに睡眠の質が低下し、悪夢を見るという実例もあります。また月経異常や勃起不全（ED）の副作用が現れるとの報告もあります。

自分に合った薬を選択することが重要になってきますので、薬を飲み始めて体調等おかしい点に気が付いた場合はかかりつけの薬剤師・医師に相談しましょう。

また、市販薬を続けても治らない場合は必ず専門の医療機関を受診するようにしましょう。

**新タイプの市販薬でも副作用に注意！**